

【放ディ】事業者向け	事業所名	重症心身障がい児デイサービスセンターひなたのゆめ
	アンケート実施期間	令和7年12月1日～令和7年12月22日まで
	配布数	7枚(回収率 100 %)

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	今後取り組んでいきたい事 改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7			
	2	職員の配置数は適切であるか	7			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	7			
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	7		・現場のスタッフ同士で改善点等を共有し活動を進めている ・時短パートにも確認できるようにファイリングされている	・夏休みなど長期休みを全て後でまとめて行うと忘れる事があるのでこまめに行えるといい
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		6	※無記入1	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7			
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7		・複数の保育士が中心になりアイデアを出し合っています ・常勤、非常勤で話し合いながら子供の姿をイメージしながら立案を行っている	・集まれない時も各々でアイデアを共有できるように工夫した
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7		・森があるので自然を感じられるようにしたり、季節ごとの行事も大切にしながら活動プログラムを立案しています ・昨年のは反省を活かしたり違う方法を考えたり個別に対応できるようなプログラムを考えている	・今後も今年同様考慮し、充実した放ディ時間を過ごせるように努力したい ・気づいた事があったら積極的に話をする
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	7		・休日、長期休暇には一日を通して楽しめる活動ができるようにしている ・平日の制作等は人数制限、方法考慮、休みはじっくり制作している	・今年は長期休暇での課題はいつも以上に設定できていた
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	7		・長期休みには個別外出を計画している ・1日の中でも個々の時間、集団の時間と組み合わせている	・それぞれの活動のいいところを短い時間でもだせるように工夫する
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7		・ミーティングで活動内容を共有し、すきま時間に大切にすること等を話している ・役割分担等その都度話し合っている ・参加できない時常勤が個別に対応している	・細かい内容を隙間時間に積極的にきく
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7		・送迎等、スタッフが揃わない時は個別で振り返りや気づいたことを聞き取り、次に活かすようにしている ・帰りはできずとも翌日などに行う事もある	・開始前と同様隙間時間に積極的にきく
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7		・スタッフが集まって記録を書くようにし子供の様子や支援の検証を共有している	・記録を支援の検証、改善につなげていくようにする
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7		・半年に一回モニタリングをして計画を見直している	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	7		・伝統行事を体験したり、外出の機会を作ったりして色々な遊びや活動を体験できるよう、また自分から主体的に関わるところをしている	

関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	7			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	7			
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	7			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	7			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	5	・半田小学校へ遊びに行くときは小学生と積極的に声を掛けたりして交流できるようにしている	・散歩でかけた時などに挨拶するなど小さな交流を積み重ねていけるといい ・小学生や近所の方などにひなたが興味を持つてもらえるように積極的に交流できたらいい
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		7		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7		・送迎時に子どもさんの様子を伝えたり連絡ノートでも家での様子や体調を教えていただいている	・一方的にならないよう共通理解を務めていく
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか		7		
保護者へ の説明責 任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7		・送迎時や連絡ノートでのやり取りで相談事や心配事に対応するようにしている	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		7		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7		・送迎時にお聞きしたこと連絡帳は常に共有している	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7		・毎月お便りをだして活動予定や活動報告をしている	
	35	個人情報に十分注意しているか	7		・常に意識して情報の取扱いに気を付けている	・このくらいならと思わないように意識していく
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7		・子供が表立していいる表情や行動などで意思を汲み取ったり本人に希望を聞くなどしている ・紙に書いて渡すなどわかりやすく伝達できる	・帰りの送迎時に伝達できるように心掛けている
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	7		・ひなた祭を開催しました。モルックやバルーンなど子供たちも楽しめるように工夫している	
非常時等	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7		・スタッフに訓練をいつするか知らせない訓練もして備えている	・訓練開始時間を知らずに行う訓練
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7		・研修に参加している	

ナビゲーション の対応	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7		・お弁当にもアレルギー食材を明記してあります	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7			